

5月の上野公園で大評判の打刃物体験

「さすが、東京だあ。」と参加した与板人を驚かせたのが、「えちご長岡・佐渡広域観光フェア」の人流。18・19日二日間、上野公園内の与板打刃物ブースには大勢の人ばかり。用意した36本の鍛冶体験用「切り出し」はすべて使い切り、与板打刃物展示即売コーナーも、盛況のうちに終了となりました。



大きな成果を上げた上野でのイベントを振り返り、次につなげるため、匠会では23日に反省会を開いて意見交換をしました。

「匠会の原点にもう一度立ち返ろう！」

その際に話題に上がったのは、即売コーナーに与板産以外の製品が多数並んだことへの厳しい指摘と、それをめぐる意見のやりとりでした。「上野の客層は多様で、欲しい物が与板では造ってない品であることもある。お客の要望に応えるには仕方ないのでは？」「与板の打刃物をアピールするという目的から外れると歯止めがなくなってしまい、品物に責任がとれなくなる。」など、活発な議論が交わされました。出るからには売りたい…その気持ちも当然です。しか

し、私たちが匠会を立ち上げた時の目的に照らせば、「優れた与板打刃物を広く知ってもらう」ための会だったはずでは



売り上げを増すために他産地の製品を展示会で並べることは、今後再考すべき点でしょう。

「他産地の品」とハッキリ明示して分けて並べたら、との案も出ました。会場の特性を考慮して製品の扱いを考えたら、との意見も。いずれにせよ匠会が動き出してまもなく五年という節目がやってきます。これまでの取り組みの姿勢、その成果が検証のまな板に載せられる重要な「節目」を迎えます。匠会の原点をもう一度会員相互に確認し合い、今後の課題として展示会の在り方を真剣に考えていくことが大切です。

(株)ベルソフト高橋社長「与板刃物を応援」

私たち匠会に強力な助っ人が。願ってもないありがたい応援団です。市の工業振興課から働きかけていただいてこのお話がまとまりました。長岡市役所等のホームページも作成しているインターネット関連会社のベルソフトさんが、与板の打刃物に目をとめて下さり、ネット販売のための支援を申し出て下さいました。

さっそく与板の鍛冶の職場取材されホームページを作成する予定です。情報社会に対応できる窓口ができることに大きな希望と期待がふくらみます。がっちりスクラム組んで、一步前へ進みましょう。